



# 平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年4月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 システムソフト

コード番号 7527 URL <http://www.systemsoft.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉尾 春樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 緒方 友一

TEL 092-732-1515

四半期報告書提出予定日 平成28年5月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	1,600	4.7	105	6.3	75	△14.7	48	△23.9
27年9月期第2四半期	1,529	△0.8	98	△65.5	88	△69.3	64	△84.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	0.72	0.72
27年9月期第2四半期	0.95	0.95

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年9月期第2四半期	7,383	6,824	92.1	100.25
27年9月期	7,413	6,913	92.8	101.54

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 6,797百万円 27年9月期 6,881百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年9月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年 9月期の業績予想(平成27年10月 1日～平成28年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,535	15.5	436	8.0	379	2.6	315	1.9	4.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	67,842,560 株	27年9月期	67,802,960 株
28年9月期2Q	31,719 株	27年9月期	31,719 株
28年9月期2Q	67,788,552 株	27年9月期2Q	67,754,705 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

当第2四半期累計期間(平成27年10月1日～平成28年3月31日)におけるわが国の経済は、政府による経済施策や日銀による金融緩和により企業収益や雇用情勢の改善が見られる一方で、中国などの海外景気の下振れリスク、原油安等もあり、先行きの不透明感が残る状況で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、企業収益の改善をベースとしたIT投資は、一部慎重な姿勢はありますが回復傾向が継続しております。しかしながら、IT技術者の不足は続いており、今後の開発原価上昇への影響も懸念されております。

このような環境下、当社は、システム開発分野において、当社が得意とする技術要素・ノウハウを活かした案件の受注を進めることと併せ、Webマーケティング分野においても、当社の強みを活かしたWebシステム関連のコンサルティング業務と、そこから派生するシステム開発までを含めた、ソリューション全体の受注により、事業を拡大させるよう進めてまいりました。また、企業としての信用力の強化、新規顧客の開拓、優秀な人材の採用等を目的として、平成27年12月17日をもって、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から市場第二部へ市場変更いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は前年同四半期に比して71百万円(4.7%)増加し1,600百万円、営業利益は前年同四半期に比して6百万円(6.3%)増加し105百万円となりました。また、当第2四半期累計期間において市場変更費用14百万円を計上したこと等により、経常利益は前年同四半期に比して12百万円

(14.7%)減少し75百万円、四半期純利益は前年同四半期に比して15百万円(23.9%)減少し48百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① システムソリューション事業

Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発及びソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。

当第2四半期累計期間におきましては、不動産分野の新規案件獲得に加え、生損保分野が堅調に伸長したこと等により、売上・利益が大きく増加いたしました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前年同四半期に比して208百万円(25.5%)増加し1,027百万円、セグメント利益は前年同四半期に比して82百万円(159.5%)増加し134百万円となりました。

#### ② マーケティング事業

日本におけるWebマーケティングサービス開始初期から培ってきた技術・ノウハウを活かし、大手企業を中心としたお客様に対して、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。

当第2四半期累計期間におきましては、顧客ニーズの多様化に伴いWebコンサルティングから派生するシステム開発は堅調であるものの、景況感から企業のマーケティングコスト投入に慎重な姿勢が続いております。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前年同四半期に比して126百万円(17.9%)減少し583百万円、セグメント利益は前年同四半期に比して70百万円(43.3%)減少し92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ30百万円減少し、7,383百万円となりました。これは主に、償却によるのれんの減少88百万円等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ58百万円増加し、558百万円となりました。これは主に、買掛金の増加68百万円等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ88百万円減少し、6,824百万円となりました。これは主に、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の増加135百万円、投資活動による資金の減少60百万円、財務活動による資金の減少137百万円により、前事業年度末に比べ62百万円減少し、2,690百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、135百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益74百万円、減価償却費78百万円、のれん償却額88百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は、60百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出47百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、137百万円となりました。これは主に、配当金の支払額134百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期通期の業績予想につきましては、概ね当初計画どおりに推移しているため、平成27年10月30日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,752,608	2,690,176
受取手形及び売掛金	678,464	822,244
仕掛品	2,202	4,403
繰延税金資産	136,946	133,113
その他	26,761	27,254
流動資産合計	3,596,982	3,677,192
固定資産		
有形固定資産	103,034	94,528
無形固定資産		
のれん	2,767,013	2,678,551
その他	80,105	113,677
無形固定資産合計	2,847,119	2,792,228
投資その他の資産		
長期前払費用	662,510	609,510
その他	203,955	209,863
投資その他の資産合計	866,466	819,374
固定資産合計	3,816,621	3,706,131
資産合計	7,413,603	7,383,323
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	108,672	177,628
未払法人税等	23,187	28,959
賞与引当金	32,923	36,883
その他	128,365	103,937
流動負債合計	293,148	347,408
固定負債		
繰延税金負債	7,013	5,198
退職給付引当金	166,445	175,534
資産除去債務	17,064	17,155
その他	16,325	13,052
固定負債合計	206,849	210,940
負債合計	499,997	558,348

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,492,686	1,495,461
資本剰余金	4,248,888	4,251,663
利益剰余金	1,141,932	1,055,305
自己株式	△8,046	△8,046
株主資本合計	6,875,460	6,794,383
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,932	3,333
評価・換算差額等合計	5,932	3,333
新株予約権	32,213	27,257
純資産合計	6,913,605	6,824,974
負債純資産合計	7,413,603	7,383,323

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	1,529,270	1,600,660
売上原価	1,042,413	1,101,754
売上総利益	486,856	498,906
販売費及び一般管理費	387,870	393,719
営業利益	98,985	105,186
営業外収益		
受取利息	1,908	263
受取配当金	156	195
その他	146	604
営業外収益合計	2,211	1,062
営業外費用		
支払手数料	7,075	8,166
市場変更費用	-	14,125
その他	6,085	8,896
営業外費用合計	13,161	31,187
経常利益	88,035	75,061
特別利益		
新株予約権戻入益	1,135	-
特別利益合計	1,135	-
特別損失		
固定資産除却損	-	81
特別損失合計	-	81
税引前四半期純利益	89,171	74,980
法人税、住民税及び事業税	15,353	22,692
法人税等調整額	9,539	3,371
法人税等合計	24,892	26,064
四半期純利益	64,279	48,915

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	89,171	74,980
減価償却費	75,047	78,723
のれん償却額	88,462	88,462
新株予約権戻入益	△1,135	-
固定資産除却損	-	81
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,605	3,960
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△463	9,088
受取利息及び受取配当金	△2,064	△458
売上債権の増減額(△は増加)	△86,310	△143,780
未収入金の増減額(△は増加)	△319	353
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,293	△2,200
仕入債務の増減額(△は減少)	32,217	77,775
未払金の増減額(△は減少)	△3,342	△10,796
未払消費税等の増減額(△は減少)	6,973	△26,639
その他	△30,074	6,313
小計	166,850	155,863
利息及び配当金の受取額	319	456
法人税等の支払額	△12,912	△20,631
法人税等の還付額	3,250	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,507	135,688
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,489	△3,212
無形固定資産の取得による支出	△7,065	△47,134
投資有価証券の取得による支出	-	△5,700
従業員に対する貸付けによる支出	-	△280
差入保証金の差入による支出	-	△4,259
差入保証金の回収による収入	-	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,554	△60,487
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,930	594
リース債務の返済による支出	△3,121	△3,273
配当金の支払額	△133,912	△134,955
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,103	△137,634
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,849	△62,432
現金及び現金同等物の期首残高	2,412,911	2,752,608
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,426,761	2,690,176

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム ソリューション事業	マーケティング事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	818,808	710,461	1,529,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	818,808	710,461	1,529,270
セグメント利益	51,999	162,535	214,535

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年1月のパワーテクノロジー株式会社の吸収合併により「Webマーケティング事業」を開始し、既存事業であった「システム開発事業」及び「賃貸不動産情報サイト運営事業」と併せ、シナジー効果による事業拡大を図ってまいりました。その結果、同一のお客さまから複数の事業分野にまたがる発注を頂くことが増加したため、今後はサービス別のセグメントから、お客さまに対する窓口である当社の事業本部を基礎としたセグメントとすることが適切な情報開示であると判断いたしました。これにより報告セグメントを従来の「システム開発事業」「賃貸不動産情報サイト運営事業」及び「Webマーケティング事業」の3区分から、システム開発を中心とする「システムソリューション事業」及びWebマーケティングを中心とする「マーケティング事業」の2区分に、第1四半期会計期間より変更しております。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	214,535
のれんの償却額	△88,462
全社費用(注)	△27,086
四半期損益計算書の営業利益	98,985

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム ソリューション事業	マーケティング事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,017,021	583,639	1,600,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,420	-	10,420
計	1,027,441	583,639	1,611,080
セグメント利益	134,949	92,092	227,041

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	227,041
のれんの償却額	△88,462
全社費用(注)	△33,391
四半期損益計算書の営業利益	105,186

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。